

【NEWS RELEASE】

2020年6月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社山一地所に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社山一地所（代表取締役社長：渡部 洋平）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社山一地所については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

環境配慮型設計を通じた建築物のエネルギー効率の改善、再生可能エネルギーの利用拡大への貢献

| | |
|-----------------------------------|--|
| 目標7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに | ターゲット7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 |
| | ターゲット7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。 |

不動産の運用・管理を通じた、高齢者、障がい者、外国人の社会的包摂の促進

| | |
|---------------------------|--|
| 目標1 貧困をなくそう | ターゲット1.4 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、全ての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。 |
| 目標10 人や国の不平等を なくそう | ターゲット10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包摂を促進する。 |
| 目標11 住み続けられる まちづくりを | ターゲット11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 |

柔軟な働き方の実現によるディーセントワークの推進、生産性向上、地元における雇用機会の創出

| | |
|------------------------|--|
| 目標 8 働きがいも 経済成長も | ターゲット 8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。 |
| | ターゲット 8.5 2030 年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。 |

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



ロゴ

<ご参考>

SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。